

+ Viva Kango

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



平成十三年度 入学式

陽春を受け、三期生の キャンパス・ライフがスタート!

四月五日、一一〇人(女子九七名、男子十三名)の入学生と父母、関係者を迎え、日本赤十字北海道看護大学において、平成十三年度入学式がとり行われました。

入学式場となりました講堂では、新入生と父母、在学生、関係者らが集い、厳粛な中、入学生全員の名前が紹介されました。その後、松木学長から「赤十字は、赤十字運動標語の *dignity of all* (すべての人々に人間としての尊厳を) の元で活動している。自分自身を変化させる機会を招き、豊かな学生生活を送っていただきたい」との式辞がありました。引き続き、入学生は、日本赤



■在学生代表



■入学生代表

十字学園の近衛忠輝理事長(時光直樹常務理事代読)の挨拶、北見市の神田孝次市長のご祝辞、多くの祝電の披露を受けました。

また、在学生を代表して、二期生の山本隆弘さんから、「一緒に多くのことを発見できるように助け合いますよ」という歓迎のことばがあり、それを受けて、入学生を代表して阿部綾華さんが、「赤十字の理念に基づき、有意義な学生生活を送る」という誓いの言葉述べました。

入学式終了後は、入学記念写真の撮影が行われ、新しい門出となる四月五日の入学式は、無事終了しました。

新入生歓迎のことば



学長 松木光子

いる学生達をよくみかけられるようになって、「いい風景だな」とうれしく感じています。

新入生の皆さんには、「the power of humanity(人道は限り無き力)」という赤十字のロゴの示すhumanityと看護の心・知識・技を培い、将来それぞれの地域と世界で活躍する人材の輩出を期待します。

北国の長い冬を経て春の気配とともに、この四月新たに一一〇名の一年生を迎えました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。本学は開学三年目を迎えたばかりです。毎年大学をあげて新入生を心待ちにしております。これで三年がそろい、四月時点で学生総数三二七名となりました。多くなつたせいか、このところ放課後、運動場や体育館でスポーツをして

在学生から

2年 松尾 知香



新入生をむかえ、この大学もますます活気づいてきま

した。看護学を学ぶこの大学のカリキュラムは他の大学に比べるととてもハードです。でもそれと同時に、同じ道を歩む仲間達と過ごす学生生活はとても楽しく刺激的です。

新入生から



1年 神山めぐみ

この大学は単科大学なので、みんな同じ目標に向かってがんばっています。

レポートを発表したり、ディベート大会などを行う中で、自分とは違った考えを持った仲間に出会うと、とても新鮮ですし、様々な角度から物事を考えることができ、良い刺激になります。

いつも患者さんに生きる勇氣と希望を与え続けられるような、心豊かで温かい看護婦になることを目標にこれから四年間、多くの仲間達と一緒に積極的に学んでいきたいと思えます。



1年 工藤 祥太

私は、自ら考え、行動できる看護従事者を目指し、この大学に入りました。しかし、この大学に入學したからといって、行動力のある看護従事者になれるわけではなく、自ら積極的に学んでいかなければいけません。

講義の内容も、確かに難しいところも多いですが、看護職に直結した内容はとても興味があり、毎日が発見と驚きの連続です。また一言で「看護」と言いますが、私が思っていた以上に奥が深く、その奥の深さをさらに追求していきたいと思っています。

新入生歓迎会



四月六日午後五時半から、講義棟のホールで、自治会主催の新入生歓迎会が開催されました。

自治会では、不安や希望を持つて入学してきた一年生に役立つように配慮して作成した三五頁に及ぶ大学生活のガイドのパンフレットを配布しました。

賞品付きのゲームやクラブ紹介がされ、大変な盛り上がりを見せていました。

演劇部初公演

「だんRUN!」を終えて

こんにちは、演劇部です。私は、昨年の夏にクラブができ、今回六月七日に初舞台をむかえることが出来ました。初めての公演ということで「お客さんは来てくれるだろうか?」「どう

しかった」「また観てみたい」と反応も良く、これらの声に込めるべく、次回作もいろんな人を楽しんでもらえるように頑張っていきたいです。

部長 上谷 健二



また、この大学は開学してまだ三年という発展途中にあるという特色があり、サークル活動や大学行事に取り組み、伝統を創っている魅力があります。充実した毎日過ごすべく、様々な事にトライしましょう!

3年 村上 秀明



もう前期も半分くらい終わってしまいましたが、大学



今年初の試みであった野

第三回大学祭が六月三〇日(土)・七月一日(日)の二日間にわたって開催され、延べ二八四名の方々が本学を訪れました。

開学して三年目の今回、学生達の熱意と企画は一段と充実し、大学祭名「Cross Hearts Festival」も誕生しました。Cross Hearts (心が通い合う)を基盤に、今年度は「小さな輪から大きな和へ」をテーマとし、学内の域を超えて躍動的に活動する学生たちが印象的でした。

外ステージでは、本学音楽部の心が洗われるようなコンサート、北見周辺を活動拠点にしている青虎天真(和太鼓演奏)、N.N.C.(ゴスペル)、QUACK(バンド)などの迫力あるステージが行われ、大学祭の雰囲気が大いに盛り上げられました。

毎年恒例の「ヘルスチェック」は延べ二三五名が来室し、昨年からのリピーターが出るほどの好評ぶりでした。また医療を考える会は三ヶ月かけて調査した車椅子体験をビデオや展示で発表し、ボランティア部は北見市街のバリアフリー度



を地図にまとめ展示しました。チャリティーバザー・募金コーナーでは地雷に関するパネルを展示し、



第3回 日本赤十字北海道看護大学 大学祭2001

Cross Hearts Festival

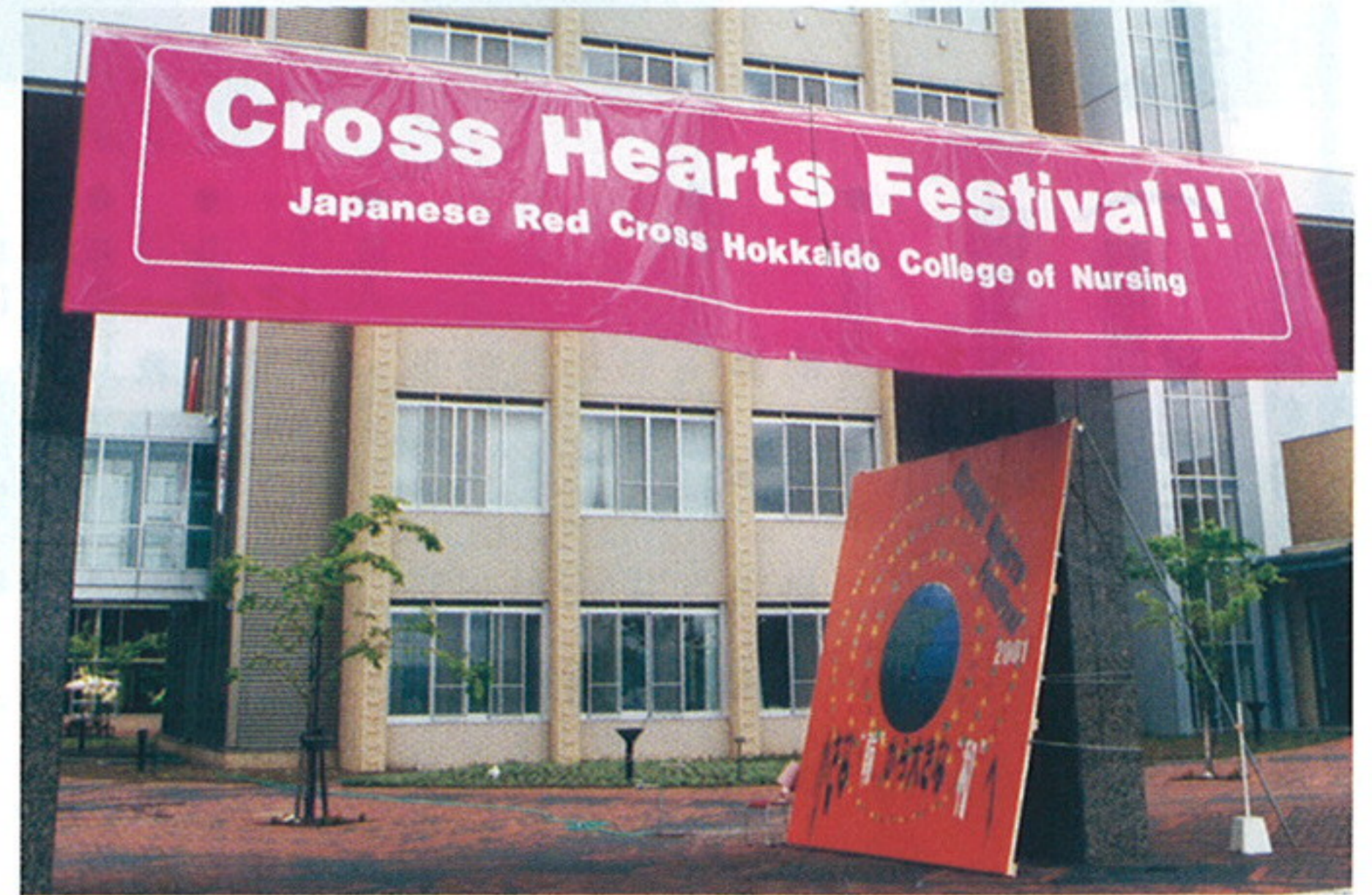
Event
 特設ステージ
 ・和太鼓演奏「青虎天真」6/30 14:00-
 ・ゴスペルLIVE「N.N.C」6/30 15:00-
 ・LIVE「QUACK and more」7/1 11:00-
 Health check
 Cross Heartsコンサート
 模擬店
 チャリティーバザー
 献金 9:30-17:00
 交通事故模擬体験
 ・トワイニングコロシアム
 ・シニアヘルソフコロシアム
 展示
 スタジオフリー
 舞台
 花火 19:50-17:10(天候次第)
 etc

Date
 6/30(土)・7/1(日)
 10:00~14:30

Place
 日本赤十字北海道看護大学
 北見市南十町三丁目
 日本赤十字北海道看護大学学生会・大学祭実行委員会
 主催：日本赤十字北海道看護大学学生会・大学祭実行委員会

第3回 大学祭

Cross Hearts Festival



総額約五万二千元を日本赤十字社地雷被災者救済金として寄付しました。

茶道部の「夏祭り」をテーマにした茶会、写真部・無線部の「RN喫茶」(糖尿病の方のためのカレーが人気)、さらに障害者の方々が出店した「フレンズ」や「クプクプ」など模擬店はどれもこれも大盛況でした。

見事な花火が打ち上げられた後夜祭で、大学祭は幕を閉じました。

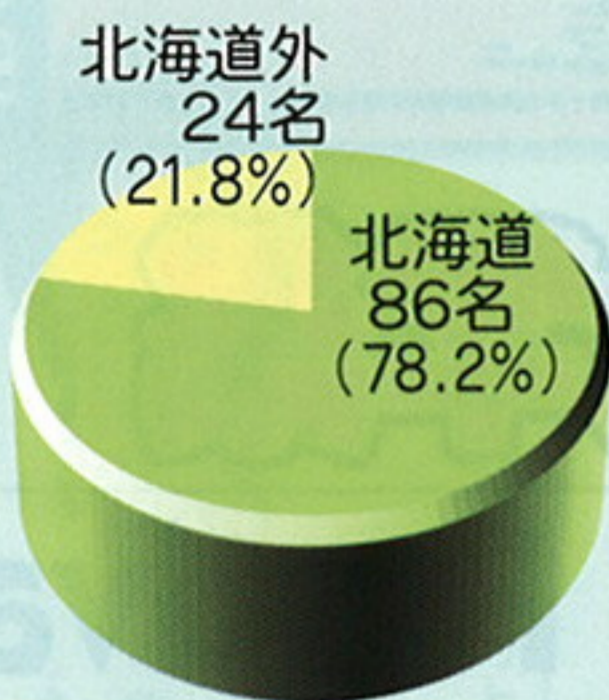
実行委員をはじめとする関係者のみなさん、本当にお疲れさまでした。



平成13年度入試概況

| 試験区分 募集人員等 | 推薦入学試験 | | 一般入学 試験 |
|---------------|--------|-------|------------|
| | 公募推薦 | 指定校推薦 | |
| 募集人員 | 35名 | 10名 | 55名 |
| 志願者数 | 62名 | 10名 | 312名 |
| 受験者数 | 62名 | 10名 | 303名 |
| 合格者数 | 38名 | 10名 | 77名 |
| 実質倍率 | 1.6倍 | 1.0倍 | 3.9倍 |

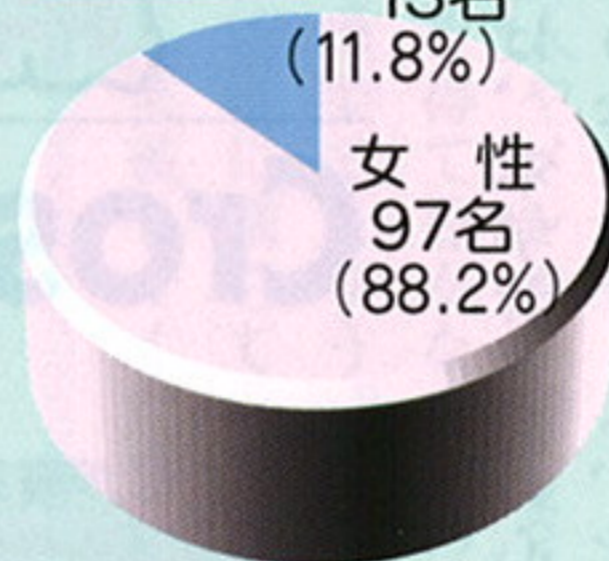
出身地別



現浪別



性別



■入学者(出身高校) 都道府県別内訳

北海道(86名)・福島県(3名)
東京都(3名)・青森県(2名)
茨城県(2名)・三重県(2名)
大阪府(2名)・岩手県(1名)
山形県(1名)・群馬県(1名)
新潟県(1名)・富山県(1名)
山梨県(1名)・長野県(1名)
愛知県(1名)・香川県(1名)
熊本県(1名)

■入学者(出身高校) 北海道地域別内訳

網走地域(28名)・石狩地域(15名)
上川地域(13名)・空知地域(9名)
釧路地域(8名)・胆振地域(5名)
渡島地域(2名)・十勝地域(2名)
後志地域(1名)・宗谷地域(1名)
日高地域(1名)・根室地域(1名)

教員人事

平成十三年四月一日付けの教員人事は、左記のとおりです。

【採用】

- 基礎科学講座 教授 芝木秀俊
- 基礎看護学講座 教員 福川幸子
- 成人・老人看護学講座 助手 教樂木弥生
- 母子看護学講座 助手 江口保子
- 助産師 助手 川口由紀子
- 助産師 助手 岸野亜矢子
- 助産師 助手 松浦さおり
- 助産師 助手 松本志保
- 助産師 助手 吉川明枝
- 助産師 助手 島川一子
- 助産師 助手 真瀬淳子

図書館から

前定期試験期間に伴う圖書の貸出停止と臨時開館

試験期間が近づくと、試験に関する特定分野の図書に貸出が集中し、利用で

基礎看護学講座

シリーズ③ 講座紹介

その1

基礎看護学講座には8名の教員が在籍しています。今回は写真前列の4名の教員を紹介します。

■松本光子教授(学長)

医療科学概論、看護学概論、看護研究方法を担当しています。普段は役職が忙しくしておりますが、自然と親しみ、毎日太極拳をし健康に気をつけています。趣味は押し花で、作品を研究室に飾っております。興味のある方はおいでください。

■佐藤久美子講師

看護方法学V・VIで、日常生活援助技術に関する講義や演習を主に担当しています。臨床での経験をいかしながら、わかりやすい講義と看護職の醍醐味を伝えることができるように頑張っています。好きなものは、花・月・シロクマ・猫・甘いもの・Beerです。白樺の花粉症なので5~6月はマスクが必需品です。

■福川幸子助手

3月まで助産婦として働いていましたが、ひよんなことから本学で働くことになりました。赤ちゃんを抱くことが大好きなため、それができない現在、赤ちゃん禁断症状がでています。近々実習室の赤ちゃんの模型が一人いなくなるかもしれません。こんな私ですが、学生の皆さんと一緒にいろんなことを体験しながら、自分も看護について考え、学んでいきたいと思っています。

■教樂木弥生助手

4月から北見に移り住み、3ヶ月が過ぎました。福岡で生まれ育った私にとって北海道での生活はとても不安なものでしたが、春の訪れとともに町が一斉に色とりどりの花々で覆われたとき何とも言えない感動を覚えました。私は家にいるよりとにかく外に出て行くことが好きなので、今後は北海道の大自然を四季の移り変わりとともに存分に満喫していきたいと思っています。



前列左から：福川助手、松本学長、佐藤講師、教樂木助手
後列左から：星助手、二ツ森助教授、休波講師、山本助手

夏季休業期間中の図書館の開館と長期貸出の実施

夏季休業期間中は次のとおり開館時間を短縮するとともに、蔵書点検期間中は、休館いたします。また、長期貸出を実施いたします。

- ◆開館時間短縮期間
八月一日～九月七日
- ◆開館時間
九時三十分～十七時十分
- ◆蔵書点検期間(休館)
八月十三日～八月十七日
- ◆長期貸出期間
八月一日～八月三十一日
- ◆返却日
八月三十一日
- ◆貸出冊数
一人五冊まで

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第5号

発行日/2001年7月17日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1
Tel.0157-66-3311 Fax.0157-61-3125
mail to:kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp

編集後記

★三学年までも活気づいてきました。今年の大学祭はいろいろな催しものが出され大変盛況でした。そのため、第5号では大学祭の内容を大きく取り上げその様子を皆様にお伝えいたします。今後も魅力ある誌面作りを志して参りますので、記事、原稿のご協力をお願いいたします。